

事務事業評価票〔市単独補助金〕

令和 5 年度

		担当課		福祉課			
基本事項	補助金（事業）名	ひまわりキャンプ補助金			整理番号	1104	
	根拠法令等	島原市福祉のまちづくり推進事業実施要綱			実施を義務付ける規定	☐ あり ☒ なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標 4 健康で自立と生きがいを支えるまちづくり	予算科目	3 款 1 項 5 目	☒ 継続 ☐ 新規	
		施策	施策4-6 自分らしい生活を目指すまち	区分	大会等補助		
事業概要等	補助金交付の対象（団体名等）	社会福祉法人 島原市手をつなぐ育成会			実施期間	始期 平成 9 年度から 終期 令和 年度まで	
	事業の背景及び概要（現状、課題）、または交付団体の活動目的、活動内容など	障害のある児童・生徒が、親元を離れ2泊3日の日程で高校生や学生ボランティア、スタッフのサポートを受けながら集団生活をし、いろいろな体験を楽しむことを目的としている。					
	目指す成果 （交付対象団体等をどのような状態にしたいのか）	地域の幅広い世代の人たちや様々な職種の人たちが、障害のある人たちを共に支えあう姿こそ「地域の望ましい姿」である。					
	補助金交付内容等 （積算基礎等）	新型コロナウイルス感染症拡大により令和2、3年度は開催中止。 令和4年度は感染症対策を講じながら、日帰りの体験活動による代替事業を実施。					
事業費等の推移	年度		31 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		350	0	0	333	333
	① 団体等事業費(千円)		643			374	
	② 歳入内訳(千円)	会費等	220			48	
		前年度繰越金					
		市補助金	350			333	
		その他の助成金					
		その他雑収入	73				
次年度繰越金(②-①)		0	0	0	7	-	
4 年度の当該団体等の事業費の主な内訳（市補助金が充当されていると思われるものから順に記載）（単位：千円）							
項 目		金 額	項 目		金 額		
物品費		47	弁当・飲料費		136		
印刷費		10					
交通費		9					
乗馬料		5					
通信費		16					
保険料		3					
燃料費		20					
会場利用料		128					
補助金の使途についての特記事項等							

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	☒ 意図した効果があがっている ☐ ある程度効果がある。 ☐ あまり効果がない ☐ 分析できない ☐ 事業効果は後年度	障害のある児童・生徒たちは、活動を通じていろんなことを体験できている。また、それを支える高校生を含むスタッフは、専門職の関係者から一般の人まで幅広く、障害というものに多くの人たちが関わることができる場である。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	☒ 必要性は薄れていない ☐ 少し薄れている ☐ 薄れている ☐ 不明 ☐ 該当しない	参加する障害児 1 人に対し、スタッフは 3 人ほど必要な状況であり、参加者・スタッフの参加費のみでは運営が厳しい状況。 障害児を地域で支え、関わりを持ってもらうことから、それぞれが参加しやすい環境を作ることも必要かと思われる。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し の 必 要 性	☒ 見直しの必要はない ☐ 検討の余地はある ☐ 見直しの必要あり	
○総合評価と今後の方向性		
総 合 評 価	判 定	☒ A 継続(特段の見直しは行わない) ☐ B 見直しのうえで実施 ☐ B1 事業規模の拡大 ☐ B2 事業規模の縮小 ☐ B3 事業内容の改善 ☐ B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性 ☐ C 休止(隔年実施など) → () ☐ D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	ひまわりキャンプを通じ、障害のある人への理解を深めるとともに、地域のボランティア育成や福祉・医療・教育関係者の連携強化につながっている。また、事業費に占める市補助金の割合も高く、必要性が高いと考えられることから、今後も継続して実施予定。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定が B1～B4 の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	障害のある児童・生徒と家族、福祉・教育機関等を目指す高校生・大学生、地元住民との交流の場やボランティアの育成の場となっている。 参加者から参加費を徴収し、主催団体も一部負担し財源としており、適正に運営されていると判断される。

判 定	▼
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
☐ 補助額の削減 ☐ 補助額の増加 ☐ 補助の休止若しくは廃止 ☒ 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 0 千円	
備考	